

会 議 録

- 1 会議名
平成26年度 阿賀野市文化財保護審議会
- 2 開催日時
平成27年3月27日（金）
午後1時00分から午後2時31分まで
- 3 開催場所
阿賀野市役所笹神支所 4階 委員会室
- 4 出席者の氏名（敬称略）
 - ・委員：関川 央（委員長）、石山昭而（副委員長）、杉本恵子、大橋憲造、
酒井淑幸、百都政弘
（7人中6人出席）
 - ・教育長 岩村 弘一
 - ・事務局：生涯学習課長 見原 健司
生涯学習課長補佐 渡辺 文男
（兼阿賀野市立吉田東伍記念博物館副館長）
文化行政係長 渡辺 一雄
文化行政係主幹 古澤 妥史
文化行政係主任 渡辺 達郎
文化行政係主任 松田 文代
- 5 議題（公開・非公開の別）
 - （1）委員長・副委員長の選任（公開）
 - （2）平成26年度事業報告・平成27年度事業計画（公開）
 - ① 指定文化財・登録有形文化財（公開）
 - ② 埋蔵文化財（公開）
- 6 傍聴者の数
0人
- 7 発言の内容
 - 開会あいさつ（岩村教育長）

本日は、平成26年度阿賀野市文化財保護審議会を招集させていただきましたところ、年度末の大変お忙しい時期にもかかわらず、ご出席を賜り厚く御礼を申し上げます。さて、本審議会委員につきましては、昨年8月末に前任期が満了したことに伴い、再任のお願いをいたしましたところ、7名の方からご承諾をいただきました。ありがとうございました。残念ながら、鈴木前委員につきましては、他機関の委員も複数お願いしていた方なのですが、すべての委員を退かれるということで、文化財保護審議会委員も再任をお願いすることができませんでした。ここにご報告

をさせていただきます。

本日の議題は、新たな任期における最初の会議でありますので、まずは委員長並びに副委員長を選任していただきます。また、以降の議題につきましては、新委員長さんから議長を務めていただき、進めさせていただきます。なお、審議会への諮問事項はございませんので、文化財行政における今年度事業と来年度事業のご説明となりますが、近年における埋蔵文化財関係業務の繁忙ぶりは依然おさまらない状況にあります。後ほど、それぞれ詳細について担当がご説明申し上げますが、皆様におかれましては、これまで同様に阿賀野市文化行政に対しまして、ご指導とご協力を賜りますようお願いを申し上げ、開会のご挨拶とさせていただきます。

(1) 委員長・副委員長の選任

■事務局（見原課長）

それでは、私のほうで総合的な司会をさせていただきます。委員長、副委員長が選出された後は、委員長から議事を進行していただきます。まずは、委員長、副委員長の選任を皆様の互選でお願いいたします。委員長、副委員長は、いかがいたしましょうか。

■事務局一任の声

■事務局（見原課長）

事務局一任という言葉がございましたが、よろしいでしょうか。それでは、関川委員から委員長、石山委員から副委員長ということで、そのまま引継いでいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

■拍手により全員同意

■事務局（見原課長）

ありがとうございます。それでは、お二人からは委員長席と副委員長席に移っていただきまして、それぞれごあいさつをいただいた後、審議に移って参りたいと思います。よろしく願いいたします。

□委員長あいさつ（関川委員長）

またこの席に残ることになりました。皆様のお力をお借りいたしまして、スムーズに議事を運営できればありがたいと思っています。私は、瓢湖の白鳥関係のことに携わっておりますが、瓢湖の白鳥は、例年より早く3月13日に10羽の白鳥が去り、終認となりました。瓢湖は、希少な鳥が肉眼でも見られる全国でも珍しい湖であり、こういっただけを再度喜び、誇りにし、宝物にしたいと思っております。瓢湖の近況を少しお話ししたところですが、議事進行を務めますので、よろしく願いいたしまして、ごあいさついたします。

□副委員長あいさつ（石山副委員長）

副委員長を引き受けることになりました石山です。本来、高齢を理由に引退しようと考えておりましたが、もう1期引き受けることになりました。つい最近までは寒さを感じておりましたが、気候が一変いたしまして陽春といった感じであります。高齢で、お手伝いができるか危ぶんでいるところですが、最後のつもり

で任期を全うしようと思っておりますので、ご協力よろしくお願いたします。

(2) 平成26年度事業報告・平成27年度事業計画

■ 関川委員長

それでは、次第に基づき、平成26年度事業報告と平成27年度事業計画について事務局より説明をお願いします。

■ 事務局（渡辺係長）

① -1 指定文化財・登録有形文化財事業報告

《指定文化財状況確認》

状況調査につきましては、25年度より開始したものです。26年度においても個人所有の文化財について文書によって変更等がないかを確認させていただきました。結果、変更等についてのご報告はありませんでした。

なお、天然記念物につきましては、これも現地での確認をしていますし、所有者の方からの連絡による確認と対応もありました。

《現状変更》

県指定史跡の越後府については、商工観光課の管理によるものですが、管理面における雑草抑制策として、10 cm程度の覆土を行い史跡面の保護と地表勾配整正を計画したいということで、県文化行政課との協議をいたしまして許可を得ております。

《その他》

無為信寺所蔵の国指定文化財藤原氏系図については、書籍・典籍といった種別で指定されていましたが、平成25年11月に行われた文化庁による国指定文化財所在確認状況調査により、古文書であることが発覚したもので、種別変更手続きを行ったところです。平成27年1月27日付で種別を古文書に変更し、指定書も変更後のものが交付されましたことを報告させていただきます。

梅護寺の珠数掛ザクラについては、桜が植えられている法面がモグラ等の被害によって崩れているといった連絡を梅護寺からいただきました。建設課維持係の指導のもと、崩壊の保護策として、ヒメダレソウを植栽しました。

同じく、珠数掛ザクラについては、葉の異常について梅護寺から連絡があり、現場確認と共に樹木医への確認によって、アブラムシによる被害と判明しました。薬剤散布方法について確認し、6月10日に駆除を実施いたしました。その後、特に樹勢に問題がなかったことも確認しております。

また、文化財の説明看板の修繕・修正につきましては、平成25年に支柱が腐食していたこともあって、強風により倒壊した笹岡城址の看板について、説明板を再利用しての修繕を行い、平成26年8月5日に完了しました。梅護寺の珠数掛ザクラについては、未だ設置者が旧町村名となっていることから、10月10日に部分的な修正を実施いたしております。同じく、県指指定史跡の安田城址ですが、看板表面にひび割れが発生していることから、10月10日に旧町村名の修正と共に説明板のプレート一式を交換いたしました。また、越後府跡については、櫓の看板も含め、水原町を阿賀野市に修正しております。なお、旧町村名のままとなっている他史跡等の看板は、27年度にも予算措置をしておりますので、順次、年次計

画的な修正をしていきたいと考えています。

《登録有形文化財》

出湯温泉の清廣館本館については、平成 26 年 11 月 21 日に登録申請し、国文化審議会が文部科学大臣に答申しております。答申については、新聞紙上にも掲載されましたが、正式な登録については、官報告示をもって登録されるということでした。昨日の官報で、ようやく告示となったと県から連絡がありました。平成 27 年 3 月 26 日をもって、正式な国の登録有形文化財として清廣館が登録されたこととなります。

《新潟県教育委員会共催事業》

下越、佐渡地区の県文化財保護指導委員と市町村担当者の合同会議を阿賀野市において開催いたしました。平成 26 年度上半期のパトロール状況報告、現状と課題、情報交換を 10 月 17 日に安田公民館で行いました。また、現場研修ということで、梅護寺の珠数掛ザクラと安田城跡をご案内し、見ていただいたところです。

① -2 指定文化財事業計画

《指定天然記念物の樹勢診断》

梅護寺の珠数掛ザクラは、3 年に 1 度、樹勢診断を行うことが望ましいとの樹木医の指導もあり、平成 27 年度がその年にあたることから、樹勢診断を行う予定です。

その他、大室の本間勝義氏所有、田崎仁義先生生家のヒイラギの空洞化が進んでいるとの連絡をいただいておりますので、珠数掛ザクラと共に 27 年度に樹勢診断を予定しています。

また、観音寺のケヤキや十郎杉も診断が必要と考えられますが、順次計画的に実施していきたいと思っております。

《指定文化財状況調査》

平成 25 年度から実施している調査であり、同様に個人所有文化財について状況を確認していきたいと思っております。

《指定文化財説明看板等の修復・修正》

平成 26 年度に引き続き、旧町村名表記部分の修正を優先させ、老朽化に伴う修復も計画的に実施していきたいと考えています。

《新潟県教育委員会共催事業》

新潟県史跡・遺跡ウォーキングについてご説明いたします。新潟県教育委員会と JR 東日本が主催し、平成 24 年度から実施している事業です。平成 27 年度は、阿賀野市を会場とする依頼があり、共催での実施を計画しております。県の担当や商工観光課を交えた事前打合せは終えており、開催日については、平成 27 年 10 月 18 日（日）で決定しています。JR が主催ということで、JR を利用しての来市を基本とし、水原駅をスタート・ゴール地点とした市内遺跡、史跡を回るコースとなります。予定コースは、六斎市、越後府跡、水原代官所（ふるさと農業歴史資料館）、瓢湖、水原商店街、市島春城生家跡地などを予定しています。募集定

員は100名ということです。観光の活性化・促進を図るため、商工観光課ともタイアップした事業になろうかと思えます。

■関川委員長

ありがとうございました。詳しく説明いただきました。ご質問はございませんでしょうか。

■大橋委員

梅護寺の桜見学者から、どこに車を止めたらいいのだろうといった駐車場問題の話聞きます。

■事務局（渡辺係長）

現地の状況を見ると、近辺に駐車場を確保するのは難しいと考えられます。そのようなことから、旧京ヶ瀬村で離れた所に駐車場を造った経緯があったと思われます。

■大橋委員

離れた駐車場から県道を歩くのは危ないし、案内もないので市道を分かる方もなかなかいらっしやらないと思います。ちょっと残念です。

■関川委員長

なんとか良い方法があれば考えていただきたいとして、越後七不思議巡りの観光バスツアーもここを訪れるで、もう少し宣伝することで客層も増えると考えますし、駐車場が良い所があれば手ごろに何度も見に行こうかなと思います。桜を守る会の皆様が、一生懸命がんばっておられますので、そちらにもお話しして、いい方法があれば善処し、市へお願いしておいた方がいいかもしれません。いい方法があればの話ですが。他に質問はないでしょうか。ご意見も一緒にございませんか。

■大橋委員

駅からウォーキングの阿賀野市の窓口はどこになるのでしょうか。

■事務局（渡辺係長）

窓口としては、生涯学習課になろうかと思えます。ただし、受付業務等は一切をJRが行うこととなります。

■大橋委員

パンフレットは、JRが作成するのですか。

■事務局（渡辺係長）

当日お配りする資料は私どもが作成し、県が印刷を行うこととなります。見学ポイントの説明等は市のボランティアガイドさんをお願いすることを予定しています。

■大橋委員

計画を聞いて初めて知りました。定員100名ということで、応募しないとイケな

い訳ですよ。集合は水原駅ですか。

■事務局（渡辺係長）

そうです。水原駅からスタートするということです。基本的には市民の皆さまへの案内というのではなく、JR線を利用していただく市外の皆さまの為のツアーということになります。

■大橋委員

どこかに広くお知らせが出ているのですか。

■事務局（渡辺係長）

県とJRでどういった周知の方法をとるのは分かりませんが、これからです。事業は平成24年度から実施しているようです。年に2、3回実施しているようで、そのひとつとして27年度に阿賀野市に話があったところです。

■関川委員長

商店街を回りながら、品物を買っていただきたいというような気持ちもあるので、すね。食事はどこかでとるのですか。

■事務局（渡辺係長）

そういったことも含めて検討しています。食事は各自持参ということですが、代官所で昼食予定となっていますので、商工観光課には福祉会館あたりでトン汁のサービスや、商工会さんには途中のトイレ等のご協力を求めながらやっていきたいと考えています。

■関川委員長

この件は終わりにして、次に移りたいと思いますが、私からひとつお願いがあります。所管は商工観光になるかと思いますが、瓢湖の水の汚れが最近ひどく、いろいろな所から意見が出てきています。湖底に水生植物が溜まり、水深が浅くなってきています。我々と市で年に2回調査をしています。外部機関に調べてもらった結果、酸素結合状態ということです。このままにしておけない状況になってきますので、なんとか湖底を江浚うとか、水を抜いて江浚うとか、いろいろと考いたいただきたいと考えています。「ラムサールに指定されてから、その後何もしていない」、「他のところでは観察舎を造ったり、機材を入れたり、資料を作っているのに、瓢湖はどうなっているの」という声を聞きます。所管部署にお願いして、できるだけ問題を上にあげていただき、環境省と相談しながら水環境を良くし、水の浄化に努めていかないと酸欠状態は改善しないと思います。大々的にいろいろな方法でエコロジーを考えて欲しいなど。あちこちで声を上げないと、環境省も国も動かないと思いますので、市民の総知恵、総力をあげ、改善に向けてできることからやろうと、心のどこかに置いて欲しいと思います。白鳥を守る会でも、会報を通じて全国に訴えかけていきたいと思っています。こちらの所管ではないのですが、文化財として意見を申し上げました。湖が文化財となっているのは珍しいことで、大事な文化財ですから。

他に何かございませんか、なければ次に参りたいと思います。埋蔵文化財について事務局をお願いします。

■事務局（渡辺係長）

②-1 埋蔵文化財事業報告

《本発掘調査・整理》

石船戸遺跡発掘調査その2につきましては、24、25年度で上層下層の9,000㎡を完了させるつもりでしたが、包含層が厚く遺物の量も想定外の多さであったため、25年度に完了致しませんでした。よって、26年度に未完了900㎡の調査を行い完了しています。

また、24、25年度とその2の遺跡範囲の前後2箇所をその3として、1,400㎡について6月から12月まで実施しています。

中世の遺跡である山口野中遺跡につきましては、市道の改良工事ということで234㎡を4月から5月に調査を実施し完了しております。

さらに、石船戸遺跡発掘調査資料整理においては、現場調査を終了した部分についての資料整理ということで、26年6月から2年にわたる事業として契約をいたしました。平成28年3月完了を目指して現在整理作業を行っているところです。

《試掘確認調査》

平成26年度においては、開発に伴う事前の試掘確認調査を6箇所実施しています。基本的には、県営淡水防除事業、県営灌漑排水事業、民間の住宅造成開発といったものです。

《遺跡発掘調査公開事業等》

石船戸遺跡発掘調査速報展（遮光器土偶公開展）につきましては、平成26年4月5日～5月11日の約1月間、水原ふるさと農業歴史資料館で実施いたしました。皆様にもご案内を申し上げ、来館いただきましたが、当初目標入館者数を500名と想定しておりました。マスコミ等の取扱いが大きかったこともあり、2,030人という入館者数を得ております。

この事業については、遮光器土偶の表情にインパクトがあったようで、考古学ファンのみならず、無関心であった方からも大勢足を運んでいただく結果となりました。遺跡調査の状況を一般の方に報告する意味でもかなり効果の上がった事業として評価をしているところです。

また、笹神中学校1年生の総合学習の講師派遣として、渡辺課長補佐をお願いをし、阿賀野市の歴史・文化を主題とした講演会を平成26年6月20日に実施しております。ここでも、遮光器土偶を持参したのですが、生徒たちからの質問も多く、関心も大きかったと感じています。

越後国域確定1300年記念事業リレー講演会といたしましては、県教育委員会との共催事業として、今年1月18日、県埋蔵文化財センターを会場に講演会を行いました。古澤主幹を講師とし、参集人数は130名が集まり、好評を得て終了しております。10回にわたる講演会事業のうちの第9回目ということで、阿賀野市の縄文時代の発掘結果を紹介しながら講演したものです。

② -2 埋蔵文化財事業計画

《本発掘調査・整理》

石船戸遺跡発掘調査資料整理について、引き続き平成 28 年の 3 月完了を目指して進めるものです。

土橋北遺跡発掘調査（県湛水防除事業安野川改修工事）につきましては、委託事業ということで先般発注いたしました。年をまたぎ平成 27 年 7 月未完了を目途に行う予定です。調査場所は、49 号線下流部の安野川左岸農地となり、本調査対象面積約 10,000 ㎡あまりの内 1,500 ㎡となり、発掘調査の事業費は県負担となります。さらに、県と予算を含めた協議を進めながら、残り上流部分の調査を予定しているところです。遺跡の時代は、縄文時代となります。

本発掘調査、整理作業は以上のような状況となります。また、市道に伴う本調査に関しては、建設課との正式な協議を行っておりませんが、いくつか調査しなければならない箇所があります。

《試掘確認調査》

今までは県営の湛水防除事業、道路整備等の開発に伴い大規模な箇所を調査してきましたが、試掘・確認調査については、終了に近づいており、平成 27 年度に予定する大きな調査箇所はない状況です。

《遺跡発掘調査公開事業等》

現在行っている石船戸遺跡発掘調査整理作業や、これから始まります土橋北遺跡の発掘調査の状況を見ながら、可能であれば企画展や現地説明会等の開催を検討していきたいと考えています。以上、説明を終わります。

■関川委員長

ありがとうございます。川や道の工事に伴う試掘・確認調査のお話がありました。平成 26 年度の報告とこれらの予定でありましたが、何か質問等ございませんか。

■杉本委員

整理作業に業者委託とありますが、それを専門にしている業者があるということですか。そういった人達を作業に頼んでいるのですか。

■事務局（渡辺係長）

調査や整理作業については、県内実績業者に業務を委託して行っています。調査員が重要となりますが、そのような要件を考慮しながらの契約となっています。

■杉本委員

試掘・確認調査については 6 箇所ありましたけれども、結果はどうでしたか。

■事務局（渡辺係長）

安野川につきましては、これによって新たな本調査必要範囲を決定いたしました。稲荷町では遺跡が確認されませんでしたので、問題なく開発が入っております。上高関につきましても、試掘の結果、遺跡は確認されておられません。

野地城中潟線については、一部本調査が必要な箇所がございました。

小里川7期地区推定地については、遺跡が確認されませんでした。これについては未買収地でしたが、地権者の同意をいただき調査を実施しております。調査ができない箇所もありましたが、改めて実施したいと考えています。

■杉本委員

暑い日も寒い日も御苦労さまです。文化財保護の使命のもと、がんばっていただきたいと思います。それから、速報展ですが、反響も大きく、すばらしい企画展だったと思います。

■事務局（渡辺係長）

マスコミが大きく取り上げてくれましたので、市内外、県内外から、本当に大勢の方から来館いただきました。

■杉本委員

私がかたまま行ったときも、もう4回目だという方とお会いしましたが、「すばらしかった」と話していました。

■事務局（渡辺係長）

本県では珍しい重要な遺物が出土したこともあります。石船戸遺跡では、それ以前の平成25年度の夏休み期間にも特殊な形での長期的な現地説明会を開催し、300人以上の見学者が来られました。子供さんからは発掘体験もしていただきましたが、体験した子供が自分の発掘した遺物が速報展に展示されていなかったことに悲しんで帰ったという話も聞いています。従来の考古学ファンのみならず、一般の方からも興味を持っていただくなど、様々な面で大きな効果があったと考えております。

■杉本委員

どこに出しても恥ずかしくない立派ものが見つかりましたが、また特別展のようなものを企画していただくことを期待しています。

■関川委員長

試掘・確認調査を実施し、一部本調査に移っていくという説明でした。私も速報展に行きましたが、職員から説明してもらえたのが非常に有難かったです。職員が説明対応していたことは、大成功だったと思います。それが大勢の人を呼び込んだものだと思います。またこのような機会がありましたら、ぜひ説明ガイドをよろしくお願いします。

■酒井委員

今後また、そのような展示会の計画はありますか。

■事務局（渡辺係長）

発掘調査報告や今後の計画についてお話しいたしましたとおり、調査や整理で手一杯の状況ですが、石船戸遺跡につきましては、平成27年度の整理によって皆様に

詳しい状況をお知らせできれば良いと思っています。また、土橋北遺跡では、試掘・確認調査の結果から、かなりの遺物が出土するものと考えられますので、現場の状況を見ながら公開の場を検討させていただきたいと思います。

なお、遺跡だけではなく、文化財の活用については、現文化行政における最大の課題ととらえていますので、市民の皆様はもとより一般の方への還元策として様々な可能性を検討していきたいと考えています。ぜひ委員の皆様からもご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。

■ 関川委員長

他にございませんか。何か要望なども。

■ 石山副委員長

文化財台帳の備考欄には和暦年号が記載されています。年号に関心のある人であれば、元禄といえど何年と、おおよその時代を判断できますが、一般的には西暦がわかりやすいと思います。今後は、和暦年号の横に括弧付けで西暦を併用して表示すべきと考えます。私も年号について、西暦に直すといつ頃だといったことをよく聞かれます。

■ 関川委員長

特に子供達には親切かもしれませんので、是非お願いします。

■ 事務局（渡辺係長）

分かりました。

■ 関川委員長

他にございませんか。

■ 百津委員

去年話題になりました二瓶さんのコレクションの関係、山口人形、それから小林ミドリさんの件でお話しておきたいと思います。

山口人形の現在の製作者は今井さんのご親戚の方ですが、日本民芸協会にも参加いただいております。そこでお会いした時にお話しを伺ったのですが、人形の顔も今井さんが作られていたころに戻ったと言われ喜んでおられました。

次に二瓶さんのコレクションについては、図録を作ってくださいご本人もご子息も非常に喜んでおられたと聞いています。このコレクション群について、昨年の審議会でも笹神支所にまとめて展示するのはどうかと提案したところですが、今後の活用について検討していただきたい。

また、小林ミドリさんが先般お亡くなりになりましたが、現在はお子さんが竹かごづくりを伝承しており、これからも続けていきたいと頑張っておられます。

いずれも無くなってしまうことは、大変寂しいことです。守り、残すべきものとして、ぜひ大勢の方から関心を持っていただきたいと思います。

■ 関川委員長

阿賀野市には素晴らしいものがたくさんございますので、我々もいつまでも大事

にしていきたいと思っております。

他にございませんか。なければ、以上で終わらせていただきたいと思います。今日は、活発なご意見等をいただき、ありがとうございました。

■事務局（見原課長）

以上をもちまして、平成 26 年度阿賀野市文化財保護審議会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

《問い合わせ先》

生涯学習課 文化行政係

TEL：0250-62-5322（内線 3 2 5）

E-mail：syogaigakusyu@city.agano.niigata.jp